



学校教育理念：「**涼**とした学校の共創」

教育目標：自ら学び、自ら考え、生き生きと活動する長松っ子の育成



令和3年5月24日 2号 文責 長松小学校 校長 佐々木講吉

快聴・快笑・快話で・・・！

お医者さんから聞いたことがあります。
健康のバロメーターは、「快食・快眠・快便」
だそうだ。
三拍子で語呂もいい！

これにあやかって、子どもとの関わり方と
して、「快聴・快笑・快話」はどうだろうか。
今一、語呂はよくないが、私が心がけている
ことです。

子どもたちの中には、新しい環境で緊張し
た4月を過ごし、五月の大型連休を終えたこ
の時期に新しい環境に対応できずに、無気力、
孤独感などを感じる子がいます。いわゆる五
月病です。

ストレスを抱えると、傾向として友達との
口論、ケガ、大人への反抗、偏食、授業中の
離席や私語などに表れます。

高学年ともなると、SNSでの誹謗中傷に
加担したり、いらぬトラブルに巻き込まれ
たりすることも珍しくありません。

大人だって同じこと。夫婦喧嘩、子どもへ
の八つ当たり、暴飲暴食からうつ症状にな
ることもある。他人事とは言えませんね。

そこで、特効薬ではありません、快聴・快
笑・快話を試してはどうか。

おはよう ございま〜す



6年生による朝のあいさつ運動 快朝です！

快 聴

気持ちを聞いてほしい欲求は
誰もが持っています。大人は飲み
ながら、話をする事で胸のつまりが解消します。

子どもたちも同じで、「私の気持ちがわからい
の?」「ねえ、聞いてよ。」
そんな声なき声を聞き出すことが大切です。

子どもは、解決策を求めて
はいません。ただ聴いてうな
ずき同調し、認めてほしい！
聴いてほしい！と思っている
のです。！



快 笑

大人が機嫌が悪く、暗い顔を
していると、子どもには不安感
を与えるだけです。

子どもは敏感で、大人の顔色を伺っています。
やがてはストレスとなり不満を抱くものです！



「笑う門には福来る！」
笑いが笑いを呼び込み幸福感を
味わうことができます。

笑うは薬、子どものためだけではなく、自身の
ためにも快く笑いましょう。“わ はっ はっ！
(^♪)”

快 話

㊦「お母さん、ニコニコして、
何かいいことあったと?」

㊧「う〜ん、特にはないけど
コロナ禍で外食ができないない
けど、家族で夕食も楽しいなあ
〜と思って！」



㊨「デザートにケーキもあって、いいね！」

*何気ない会話が快話にもなります。
「快話は心の洗濯！」